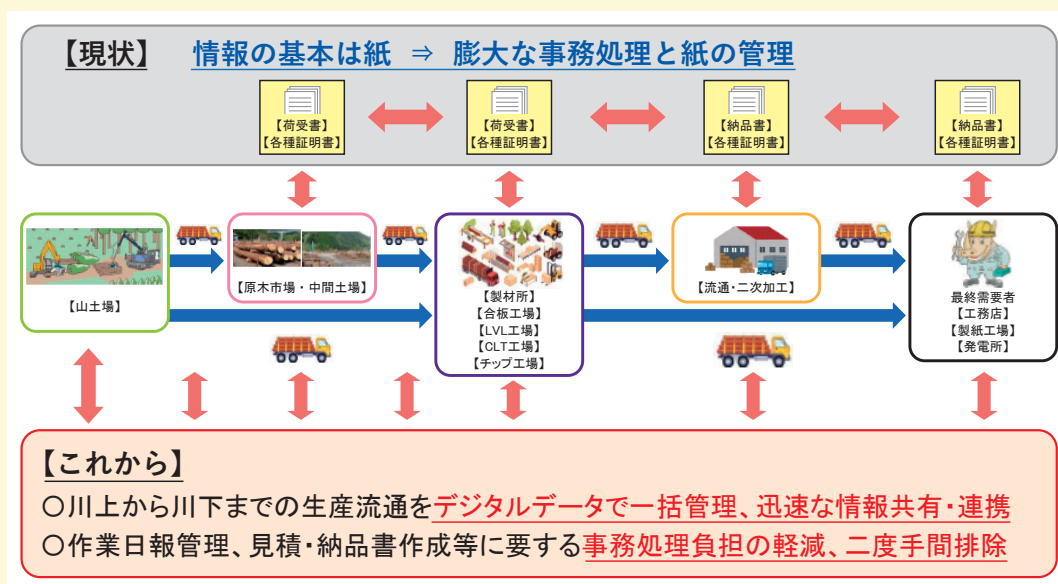


事例Ⅱ－5 各種証明書のデジタル化とデータ活用に向けた取組

デジタル林業戦略拠点(鳥取地域)では、木材の生産から流通・加工までの関係者、行政等の29団体により、鳥取県デジタル林業コンソーシアムを構成し、生産流通SCM(サプライチェーンマネジメント)システムの構築に取り組んでいる。

鳥取地域では、丸太生産から、木材市場、製材・合板工場、プレカット工場、工務店までに至るサプライチェーンにおいて、これまで見積・納品情報や県産材証明などを紙で運用しており、資料が膨大となり事務処理が煩雑になっていたことから、これらをデジタル処理できるシステムを開発し、試行運用を開始している。

このシステムにより、例えば県産材証明書については、約8割のコスト削減が可能と試算している。また、取引事業者間で十分に共有されてこなかった木材の規格や取引数量などの情報をシステム内で一括管理することで、関係者間の情報共有を円滑化するとともに、将来的には、蓄積されたデータを活用し、木材需給状況の把握や在庫管理の適正化、取引マッチングの促進などを推進していくこととしている。



生産流通SCMシステムの構築の概要

資料Ⅱ－24 スマート林業の全体像(イメージ)

林業DX (森林管理～木材の生産・流通分野)

ICT等のデジタル技術の活用とともに、従来の商慣習や業務手順を根本的に見直す“林業DX”により、低コスト化と付加価値向上を実現

<木材生産・流通の効率化>



ICTハーベスタやアプリを活用したデータ共有

伐採・搬出のスマート化

スマート林業機械・機器の活用により、新たな作業システムを構築し、チェーンソーによる伐倒を極力なくすことと労働生産性の大幅な向上を実現

<伐倒>



遠隔操作伐倒機械

<集材>



自動運転フォワーダ

造林のスマート化

スマート林業機械・機器の活用と、作業方法の転換により、労働負荷の高い作業ゼロと省力化を実現

<下刈り>



自動運転下刈り機械

<苗木運搬>



苗木の自動搬送